

## 第8回行政改革推進委員会 会議要約

- 日 時 平成26年12月22日(月) 午後3時28分～午後4時55分
- 会 場 村上市役所 5階 第5会議室
- 出席者 行政改革推進委員会委員 8名  
総務課長、総務課参事、人事管理室員2名

(午後3:28開会)

- 1 開 会
- 2 会長挨拶

会長

大雪で足下が悪い中ご参集いただき誠にありがとうございます。

今回は、前回協議いただいた答申文を最終確認して市長へ答申し、せっかくの機会でありますのでその後市長と懇談をさせていただきます。

- 3 協 議

(1) 村上市行政評価制度試行における事務事業評価の評価について(答申案)【資料No.1】

「村上市行政評価制度試行における事務事業評価の評価について(答申案)」を事務局が説明。

会長

事務局から説明ありました答申文についてご意見はございますでしょうか。

委員

人口減少への対応については【資料No.1-3】で2名が意見されていますので、ぜひ答申に盛り込んでいただきたい。

会長

貴重なご意見です。人口減少問題への対策について文言を追加することにご異議はございませんでしょうか。

(一同異議なし)

会長

それでは、文言を追加することといたします。

<結論>

最終段落文を「よって、評価された結果を反映させていくことが重要であり、市独自のオリジナリティを出した効果的な事業の構築、展開に取り組み、将来展望に立った人口減少問題への対応を行っていただきたい。」とする。

(市長入室)

4 答 申

村上市行政評価制度試行における事務事業評価の評価について(答申)

会長から市長へ「村上市行政評価制度試行における事務事業評価の評価について(答申)」を答申。

市長

ただいま会長から答申をいただきました。この答申をこれからの行政改革に資していきます。

市政のため長期間審議をしていただき感謝を申し上げる次第であります。

国では地方創生へと舵を大きく切り、それにより自治体間競争が一層激化すると思われまます。行政改革は不可欠な問題と捉えております。

皆様のお力添えいただきまして行政改革、その他取り組みが実施されていると評価され、今年度に「がんばる地域交付金」が県内一の額を交付されました。

つきまして、これからは地方の創生となってまいります。より一層財政改革、組織改革、職員定数管理等、行政改革をしっかりと肝に命じて取り組んでいかなければならないと考えております。

皆様のご指導をいただきながらしっかりと取り組んでまいります。

5 その他

会長

せっかくの機会でありますので市長との意見交換を実施いたします。

委員の皆様、質問、意見はございますでしょうか。

会長

企業が本社を地方に移すことにより国が税の軽減等の優遇措置を行うという情報があります。

機会でありますので、ぜひ企業誘致に力を注ぎ取り組んでいただきたい。

市長

一点目は、皆様もご存じのとおり、村上市では洋上風力発電という大きいプロジェクトを推進しており、12月10日まで事業者を募集し、大手2社が応募されました。

今後、岩船沖洋上風力発電推進委員会で事業者を選考し、一般海域では日本最大規模の出力をもつ洋上風力機の事業を着手していく予定です。

岩船沖が選ばれた理由は、通常の洋上風力発電機は浮体式ですが、着床式で設置ができる地形であること、柏崎刈羽原子力発電所等の送電網が整備されていることによるものです。

約16万戸の電気を賄う小さい原発程度の電力を出力できるものになり、設置機器も大規模になりますのでメンテナンスする会社が必要になります。このメンテナンス会社を市内に設立していただくこと

と、変電所の設置を申し出ているところです。それにより500人規模の雇用が見込まれます。

もう一点は、市内の工業団地は、現在満杯状態です。

村上地区に基盤整備による非農用地が7ヘクタールありますが、旧村上市でスポーツ施設を建設することとしたものであり、その条件で北陸農政局に許可を得ており、他に転用ができない土地となっております。

その土地を北陸農政局に交渉し、工業団地等を造成していきたいと考えております。

会長

今回評価しました生活交通確保対策については、ぜひ地域住民のニーズに合ったシステムを構築していただきたいと思います。

市長

当市は広大な地域であり、生活交通確保対策事業は簡単な事業ではないと考えております。

実証実験を行いました。山北地区ではほとんど利用がありませんでした。その理由として山北地区では近隣住民が誘い合いながら乗り合わせし、買い物を行うなどコミュニティが確立していることが考えられます。このような地域にどのように対策を講じるべきか難しいところです。

市街は広報により認知度が上がり、乗車も増えてきていますし、海岸沿いも徐々に増えてきております。

ただ、自宅の目の前から目的地まで行きたいというのが市民の本音であり、解決策を生活交通活性化協議会で協議しているところです。

この委員会の皆様からもご意見を頂いておりますので再度検討していくことを考えております。

会長

人口が減少した分、職員を減じていくという考え方は分かりますが、行政サービスの低下、地域に密着した対策が維持できるのかが懸念されます。

削減ありきではなく実情に合った職員人数の確保に努めて、人口減少問題の対策を今から講じていただきたい。

市長

先ほど企業誘致の件でお話しさせていただきましたが、市内の企業と対談した際、人員を募集しても応募がなく、村上市には労働力が無いのではないかと話されておりました。

その要因として都心部へ移住した子どもたちを呼び戻すだけの魅力が提示されていないと思います。

呼び戻すだけの魅力の確保が必要となっております。

職員については、合併当初の1000人規模を平成29年には733人まで減じて財政基盤の堅持するため計画を立てております。その手法として退職者の3割補充で実施しております。

この数値には、保育士も含まれており、保育士の定数についても臨時職員の多さなど、多くのご意見をいただいておりますので、保育園を統合し、公設民営を行いながら保育士の数を確保していくなど解消を図っております。

一般職についても、支所がさみしくなったとのご意見がよく出されますので、地域に活力が無くならないように733人が適正なのか、再検証に取り組んでいくことを考えております。

会長

結婚してここに住みたいというまちづくりが重要であり、魅力づくを市民あげて取り組んでいただき

たい。

市長

高速交通体系が確立しており、村上市から新発田市、新潟市も通勤可能範囲になっております。

勤務地が新発田市、新潟市としても住む場所は村上市というようなまちづくりをしていく必要があります、取り組みを進めています。

また、人口減少問題は村上市のことだけではないと捉えていく必要があります。国が抜本的な施策をしていただくことが必要でありますので、国の動向に注視しながら整合性をとった子育て支援等の政策をしていきます。

委員

村上市は働く場所が少ないと感じますので、ぜひ企業誘致に力を入れて取り組み、若い世代が帰ってくるようにしていただきたい。

市長

昨年、建設業協会主催で高校生を対象に企業説明会を開催したところ3名しか応募が無く、森林組合が開催した企業説明会でも3名程度就職が決まったとのことでした。

林業、農業、漁業等の第一次産業について若い世代の考え方が多種多様化しており、ユニークな取り組みをしたいとの希望などがありますので、これらについても取り組みをしていく必要があると考えております。

会長

時間となりましたのでこれで終了いたします。市長ありがとうございました。

(市長退室)

会長

長時間ご苦勞様でした。今回答申した評価結果に対しての市の方針は、後日事務局から報告があります。今回をもって今年度の活動は終了となりました。次年度も引き続き活発なご意見をお願いします。

ありがとうございました。

## 6 閉 会

(午後4：55 閉会)

以上、第8回行政改革推進委員会会議要約の内容が、正確であることを証明するため、ここに署名する。

平成27年 2月 9日

会 長 松 本 豊 印